

牧師所感：私の手紙を牧師所感に —或る囮の兄弟より—

2024年度のクリスマスを迎えて、当教会では明日の主日（22日）に礼拝をお捧げする予定となっている。夜はクリスマスイーヴに燭火礼拝をお捧げする予定である。

ところが冒頭のタイトルに掲載の囮の兄弟より、懇切な手紙を頂く。手紙の送り主の兄弟は、私と長い間文通して来た相手であるが、私が体調をくずしていて、文通を遠慮していたところであった。しかし病を押し通して主日に礼拝はきちんと守っていたのである。ところが兄弟は自分が送った手紙を『牧師所感』に掲載してくれるよう頼んできたので、兄弟の手紙を掲載することにした。以下手紙

申 鉢 錫 様

ご待降節 繁多の折から、先生始め 皆様には 尚 ご精励のことと拝察いたします。

寒気 日増しにつのり、冷え込みの厳しい日が 続いて居りますが、体調くずされたりして居られませんか。私の方は相変わらずの日々で健康を守っていますのでご安心ください。

先生宛に去る 2月 19 日付で 私信認めさせていただきましたが、一向に返信が届かず 諸々想い悩み、涙に暮れています。先生から届いた過去の書簡には、I. S 兄の事は今後も支え、要望に応えて行く、という内容の書簡があります。5通程 届いています。一番の頼りの先生から 信書が届か無いのが辛く、悲しく、寂しく、苦しく情け無いです。

毎週届く牧師所感を拝見する限り、先生の身体のことも心配でなりません。

私自身の朝晩の祈り中で、先生のお身体を悪くされ、入退院を繰返しされている事、所感に記されているのを拝見すると留処も無く涙が零れ、胸が締め付けられます。快方されるよう 祈りしています。

私の満期日は 2036年 2月 6 日です。あと 11 年 少々あります。先生に宛てた私信に、私が社会復帰する時は 先生のご年齢は 102 歳に成られます。それまで元気で居てください。先生のご長寿を日々お祈りしています。と記したところ、君は私の長寿を願ってくれている事、非常に嬉しく思う。I. S 兄弟の手紙と 祈りに支えられ、日々健康で過ごすことが出来ている、感謝すると記された手紙が私に届いた。

一日たりとも先生の健康とご長寿の祈りは欠かした事はありません。

下に記した、「聖きキリストのとておき」、「神の意向によって仕える」、「御心を求める祈り」を先生が発行される牧師所感に掲載される事を祈って、擱筆(かくひつ)とさせていただきます。

向寒の折、異々も健康にご留意され、お体大切にして 感冒の予防に努めてください。先生のますますのご活躍にご長寿をお祈りしています。

2024年12月14日記

I. S

これ以上の内容はプリントして、読者諸賢に送り届けます。